

令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組
 < 氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校 >

1 取組の概要

（1）氷川中学校環境版 ISO の宣言項目

宣言	【生徒】 ○節電・節水・節紙を心がけます。 ○ペットボトルキャップを回収し、リサイクルを行います。 ○学校の美化に努めます。 ○晴れた日の昼休みは校内全面消灯をし、電気使用量を削減します。 ○掃除の時はバケツを利用し、節水に努めます。 ○地域のごみ分別収集に参加し、燃えるゴミの削減に努めます。 ○学校から出た資源ゴミは、再利用出来るように分別をします。そのために、3Rを意識します。
	【職員】 ○節電・節水・節紙を心がけます。 ○ペットボトルキャップを回収し、リサイクルを行います。 ○学校の美化に努めます。 ○地域・家庭への呼びかけを行います。 ○両面印刷や裏面の再利用で紙の消費量を減らします。 ○紙の処分は溶解処理を利用してゴミを減量します。 ○夏季（6月～9月）は、室温が29度以上の際、26度～28度の設定温度でエアコンを使用することにより、電気料を節約します。 ○冬季（12月～2月）は、室温が10度以下の際、18度～20度の設定温度でエアコンを使用することにより、電気料を節約します。

（2）行動と記録

①節電・節水・節紙

ポスターの掲示や呼びかけを行い、節電・節水を心がけた（写真1）。清掃中の消灯や、清掃で使用する水はバケツに貯めた一定量の水を繰り返し使うなど、節電・節水を意識させている（写真2）。職員室内には再利用紙BOXを設置し、職員に配付する印刷物は再利用紙を利用するなどして節紙も心がけている（写真3）。また、授業中のドリル学習や参照資料を提示する際にICT機器を利用することが節紙にもつながっている。さらに、職員会議などの資料はデータ化し、パソコンの共有フォルダに入れて閲覧できるようにすることで紙の消費量を減らすような工夫も行っている。（写真4）。

（写真1）



生徒が描いた ISO ポスター

（写真2）



掃除中のバケツの利用

（写真3）



再利用紙 BOX

（写真4）

名前	更新日時	種類
1月 職員会議 (1/19)	2022/01/19 15:38	ファイルフォルダー
4月 職員会議 (4/14)	2021/04/13 15:29	ファイルフォルダー
5月 職員会議 (5/19)	2021/05/19 11:50	ファイルフォルダー
6月 職員会議 (6/16)	2021/06/17 11:37	ファイルフォルダー
7月 職員会議 (7/14)	2021/07/19 11:50	ファイルフォルダー
8月 職員会議 (8/25)	2021/08/24 8:53	ファイルフォルダー
9月 職員会議 (9/22)	2021/09/29 17:31	ファイルフォルダー
10月 職員会議 (10/20)	2021/10/19 14:59	ファイルフォルダー
11月 職員会議 (11/17)	2021/11/17 10:31	ファイルフォルダー
12月 職員会議 (12/15)	2021/12/23 12:16	ファイルフォルダー

職員会議資料のデータ化

②ペットボトルキャップ回収

生徒昇降口にペットボトルキャップBOXを設置しており、(写真5)環境委員会で定期的に回収の呼びかけを行っている。また、環境委員の生徒たちにより、11月22日～30日の期間で「ペットボトルキャップクラスマッチ」を行い、回収強化週間を設定した。(写真6)ペットボトルキャップをより多く回収することで、交換できるポリオワクチンの数を増やすことができ、1人でも多くの命を救うという説明を行い、ペットボトルキャップを回収することの意義や目的を明確に示した。この活動を行うことにより、ボランティア精神を養うとともに、リサイクル活動の活発化により、環境保全の意識を高めることにもつながっている(写真7)。感謝状は、校内掲示や学年・学級通信で紹介することで、生徒の意識向上を図っている(写真8)。

(写真5)



生徒昇降口にある回収箱

(写真6)



環境リサイクルクラスマッチによって回収したペットボトルキャップ。回収したペットボトルキャップは今年の3月にリサイクルに出す予定。

(写真7)



環境リサイクルクラスマッチの表彰状。回収個数の部、参加率の部で表彰を行った。

(写真8)

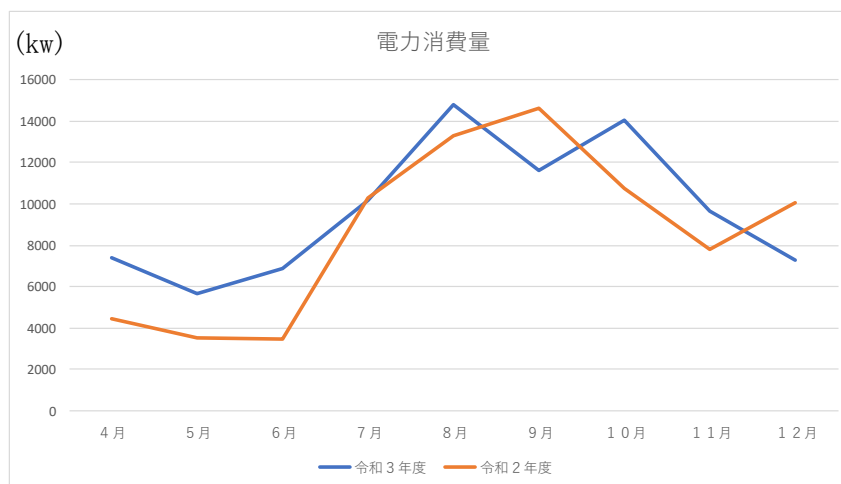


ペットボトルキャップをリサイクルに出した際にいただいた昨年の感謝状。

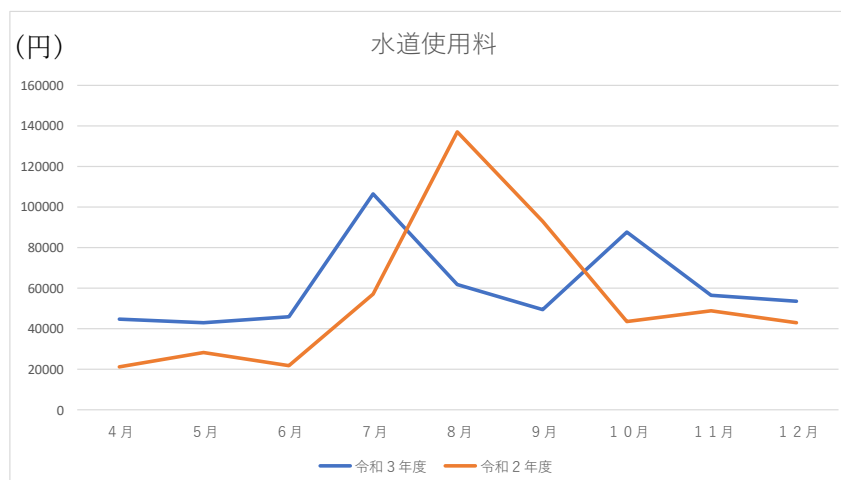
③考察

電気使用量・水道使用料は以下のとおりである。氷川中学校は、学校校舎と給食室分が含まれているため、電力消費量、水道使用料が高くなっている。令和２年度は、休校になったり、例年よりも夏休みが短くなったりしたので、令和３年度との単純比較が難しい面もある。ポスターの掲示や環境委員による節電・節水の呼びかけ、清掃中の消灯、清掃で使用する水をバケツに貯めて使うなど、節電・節水を意識させていた。しかし、電力消費量、水道使用料共に昨年度を上回っている。今年度はコロナウイルス感染症の予防のために、換気をして、冷暖房を使用していたため、多くの電力が必要だったと思われる。また、水道使用料は、手洗い、うがいの徹底を呼び掛けていたのもあり、使用料が増加したと考えられる。今年度は人命を守ることが優先であったため、電力消費量、水道使用料の削減には至らなかった。

電力消費量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和３年度	7414	5671	6891	10162	14786	11632	14071	9626	7289	87542
令和２年度	4456	3538	3472	10292	13317	14627	10735	7777	10042	78256
差額(kw)	2958	2133	3419	-130	1469	-2995	3336	1849	-2753	9286



水道使用量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和３年度	44400	43030	45640	106140	61310	49220	87440	56220	53610	547010
令和２年度	21030	28180	21850	56920	136820	93070	43330	48530	42890	492620
差額(円)	23370	14850	23790	49220	-75510	-43850	44110	7690	10720	54390



2 成果と課題

- ペットボトルキャップ回収は、毎年を取組により、意識が向上している。また、家庭にも文書を配付して、連携しながらリサイクル活動を行うことができた。中には、ペットボトルキャップを長期間、数千個集めて学校に持ってきた生徒もいた。
- 節紙については、両面印刷や裏面の再利用で紙の消費量を減らそうと取り組む職員が多かった。また、今年度はICTの活用により、紙の消費量を減らすことができていたと考える。
- 今年度は、「氷川町ごみ減量化標語コンクール」に応募する標語を全校生徒が考えたことで、ごみを減らす意識が高まった。
- 2年生の立志式では、途中で自発的に地域のごみ拾いを行う生徒の姿が見られたことから、環境保全の意識が高いことが分かった。
- 節電・節水に関しては、ポスターの掲示や環境委員による節電・節水の呼びかけ、清掃中の消灯や、清掃中のバケツの利用など、節電・節水を意識させてはいたが、電力消費量、水道使用料共に昨年度を上回っていた。新型コロナウイルス感染対策以外の部分で、主任事務長と相談をして、節電・節水をより意識させるための方策を考えていきたい。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、夏季休業中に行う愛校作業が中止となった。来年度は、家庭や地域と連携して、美化活動にもっと取り組んでいきたい。